記者発表資料

令和元年１１月８日
三春町生涯学習課
国土交通省三春ダム管理所

「さくら湖自然環境フォーラム2019」を開催します

～　「『さくら湖を知ろう』 ～ダム湖及び周辺の水中の生き物～」をテーマに　～

さくら湖及びその流域における環境に関する話題について意見交換をする場所として開催している「さくら湖自然環境フォーラム」を、令和元年11月15日（金）13時から開催します。

１．概要

さくら湖自然環境フォーラムは、さくら湖周辺での環境学習の成果や、独自に調査研究をした成果を発表し、その結果について誰でも質問や討議に参加して意見交換が出来る場とすること、またフィールドを観察や見学することで参加者が体験できる場とすることの2点を目的として平成12年度から実施しているもので、今年20回目を迎えます。内容は以下の通りです。

日　時　　令和元年１１月１５日（金）　１３時００分～１５時４０分
場　所　　さくら湖自然観察ステーション（福島県田村郡三春町大字西方字石畑２７０－１）
主　催　　さくら湖自然環境フォーラム実行委員会
後　援　　福島民報社・福島民友新聞社・大滝根川流域生活排水対策推進協議会

・事前の申し込みは<u>不要です</u>。

〇別紙：さくら湖自然環境フォーラム2019チラシ

【発表記者会　郡山記者クラブ】

【問い合わせ先】
（さくら湖自然環境フォーラム実行委員会事務局）
三春町教育委員会生涯学習課　福島県田村郡三春町字大町191
電　話　0247-62-3837　　ＦＡＸ　0247-62-4727
生　涯　学　習　課　長　　藤井（ふじい）　康（やすし）
主幹兼生涯学習グループ長　　佐久間（さくま）　久美（くみ）

国土交通省　東北地方整備局　三春ダム管理所
福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4
電　話　0247-62-3145　ＦＡＸ　0247-62-3170
管理所長　　中川（なかがわ）　博樹（ひろき）（内線２０１）
専 門 官　　片寄（かたよせ）　仁（ひとし）（内線３０１）


三春ダム

さくら湖
自然環境フォーラム 2019

テーマ：『さくら湖を知ろう』～ダム湖および周辺の水中の生き物～

期日：令和元年１１月１５日（金）
場所：さくら湖自然観察ステーション

－入場無料・参加予約は不要です－

第１部：【研究報告・発表】13:00～14:00

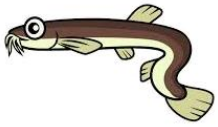
1）研究発表

さくら湖の魚の変化

応用生態工学研究所　沖津　二朗　氏

ドジョウを愛した私たち

中郷小学校４年生のみなさん



2）発表

「さくら湖自然環境フォーラム」を通して学んだいくつかのこと

応用地質株式会社　武地　遼平　氏

第２部：【基調講演】14:10～15:40

バイオロギング入門　～水の中の生き物を観察する～

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター教授（農学博士）　宮下　和士　氏



バイオロギングとは、バイオ（生き物）＋ロギング（記録をとる）を組み合わせた和製英語です。野生生物に、データロガーという小型の記録計を取り付け、自然環境の中で動物がどのような行動を取っているのかを調査する研究です。水中の生物は、潜ってしまえば、それ以上おいかけることができないため、バイオロギングは水産系の研究で主に利用されています。

宮下氏は、この研究の第１人者で、平成３０年から三春ダムにおいても、調査・研究をしております。バイオロギングについての基礎およびその活用例について紹介してもらいます。





主催：さくら湖自然環境フォーラム実行委員会

（三春ダム維持管理協議会、国土交通省三春ダム管理所、一般財団法人水源地環境センター、福島県土木部河川港湾総室河川整備課、応用生態工学研究所、三春町教育委員会、中妻まちづくり協会、中郷まちづくり協会、さくら湖流域協働ネットワーク）

後援：福島民報社、福島民友新聞社、大滝根川流域生活排水対策推進協議会

問合せ・連絡先　さくら湖自然環境フォーラム実行委員会事務局（三春町教育委員会　生涯学習課）

〒963-7759　福島県田村郡三春町字大町１９１　三春交流館「まほら」内　電話 0247-62-3837